

青少年赤十字活動支援金

(実践活動奨励金・探究活動助成金)



子どもたちの「やってみたい!」を応援しています。

青少年赤十字活動支援金は、学校や地域での実践を後押しし、
やさしさと思いやりの心と行動力を育んでいます。

この冊子では、青少年赤十字活動支援金の活用事例をご紹介します。

～ 実践活動奨励金 申請状況 ～

(1) 校種別申請件数

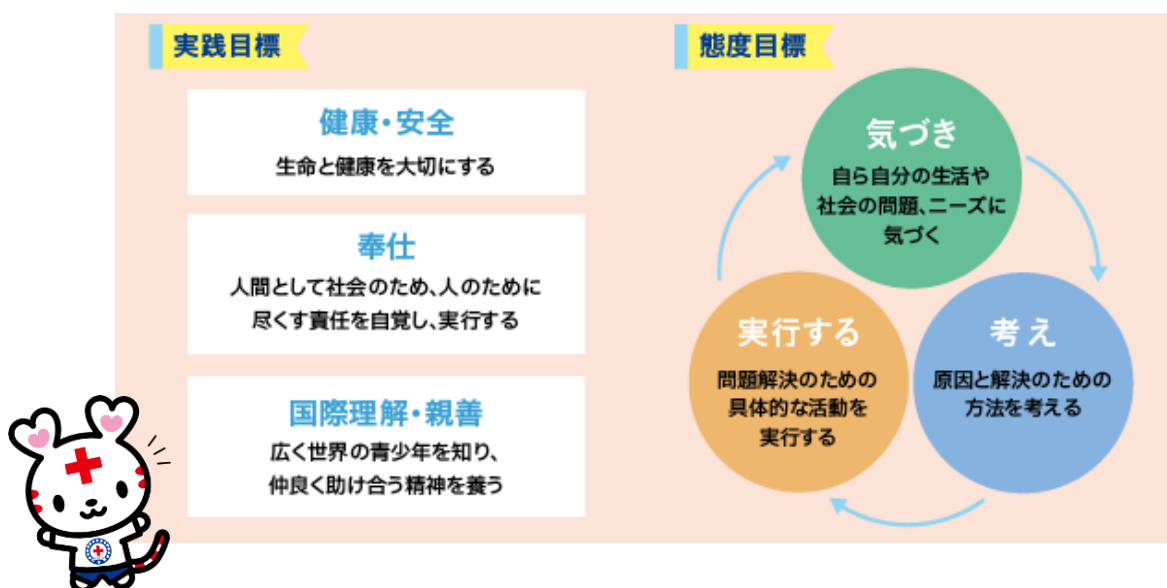
幼稚園 保育所	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	特別支援 学校	計
36園	152校	68校	3校	15校	4校	278校（園）

(2) 申請内容一覧

1 健康・安全	件数
1 体力づくり、保健衛生に関する取り組み、赤十字講習など	56
2 防災訓練、防災学習、交通教室など	40
3 飼育栽培、いのちに関する本の読み聞かせや講話など	44
4 ピアサポートへの取組、あいさつ運動、縦割り活動など	35
5 その他	2

2 奉仕	件数
1 校内外の清掃活動、あいさつ運動、福祉施設への慰問など	106
2 地域の環境や文化を守る活動	19
3 廃材品（アルミ缶、ペットボトルキャップなど）収集による支援活動	40
4 募金活動、支援先の実情を学ぶ活動など	26
5 献血に関わる活動	4
6 その他	7

3 国際理解・親善	件数
1 海外の状況を知るための調べ学習や講話視聴、国際交流など	22
2 募金活動、ランドセルや衣類回収活動など	12
3 その他	0



～ 探究活動助成金 申請状況 ～

(1) 校種別申請件数

幼稚園 保育所	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	特別支援 学校	計
—	14校	9校	—	12校	—	35校

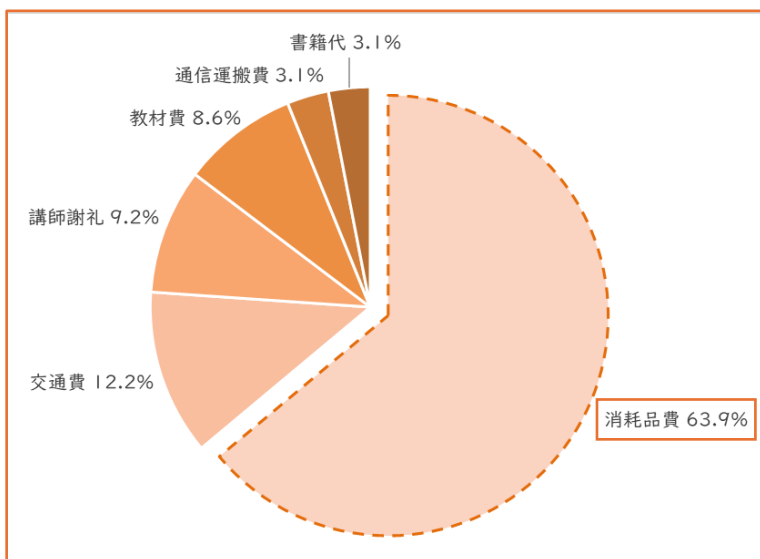
(2) 申請内容一覧

1 健康・安全	件数
1 体力づくり、保健衛生に関する取り組み、赤十字講習など	2
2 防災訓練、防災学習、交通教室など	7
3 飼育栽培、いのちに関する本の読み聞かせや講話など	5
4 ピアサポートへの取組、あいさつ運動、縦割り活動など	2
5 その他	4

2 奉仕	件数
1 校内外の清掃活動、あいさつ運動、福祉施設への慰問など	1
2 地域の環境や文化を守る活動	14
3 廃材品（アルミ缶、ペットボトルキャップなど）収集による支援活動	0
4 募金活動、支援先の実情を学ぶ活動など	0
5 献血に関わる活動	0
6 その他	8

3 国際理解・親善	件数
1 海外の状況を知るための調べ学習や講話視聴、国際交流など	1
2 募金活動、ランドセルや衣類回収活動など	14
3 その他	0

(3) 助成金の用途



こんなものを
購入しました！

消耗品費

- トナー
- コピー用紙
- 花壇整備用品
- 展示用品
- 防災食
- 調理実習材料費
- 三角巾
- 筆記用具、マジック
- ファイル
- ノート



活動の概要

- 6月 オリエンテーション
- 7月 テーマ決定
- 8月 インタビュー
- 10月 パンフレット作成
東京でPR（修学旅行）
- 12月 保護者会で発表

活動の成果

焼津の町に今一度目を向け、焼津のよさを見つけ、郷土愛を深めることができた。
また、「焼津で働く理由」や「やりがい」を聞くことでキャリア教育につながった。

助成金の用途

消耗品（トナー）



活動の概要

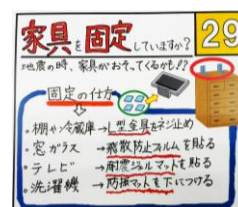
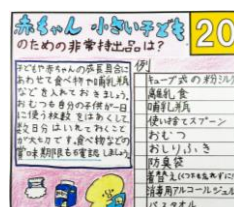
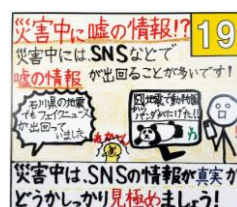
- ①防災講話の聴講
- ②PTA地区委員と協働でDIGの実施
- ③近隣高校の作成した防災すごろくの体験
- ④防災カレンダーの作成
(地域防災連絡会や市危機管理課と協働)
- ⑤防災カレンダーを学区全戸へ配布
- ⑥避難訓練の企画・運営

活動の成果

一人ひとりが自分たちの地域を見直し、みんなの命を守る防災について、真剣に考え合う姿が見られた。
また、活動を通して、地元への愛着を深めることが出来た。

助成金の用途

消耗品（カレンダー印刷代）



活動の概要

- ①教科書学習
- ②和菓子店との連携
- ③美術×和菓子
- ④文化学習・交流
- ⑥体験・意見交換
- ⑦海外発信・姉妹都市交流

活動の成果

日本文化をALTに紹介し、自国への理解を深めるとともに、英語が通じた喜びや達成感を得た。

また、教科横断学習を通じて課題に対して主体的に仲間と協力しながら取り組む姿が見られた。

助成金の用途

教材費（和菓子）、消耗品費（便箋）、通信運搬費



活動の概要

<同行支援>

- ① ケース共有・準備段階
- ② インタビュー・交流
- ③ 社会資源の学習
- ④ 実地の同行支援
- ⑤ 振り返り・地域課題の抽出

<地域の子どもたち>

- ① 課題設定・調査・分析
- ② 子ども用甚平の製作
- ③ 地元保育園へ寄贈

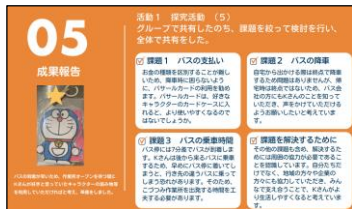
活動の成果

支援活動を通じて、障がいのある方への理解を深め、共生社会のあり方や「自分たちにできること」について主体的に考える貴重な学びの機会となった。

また、子ども用甚平の製作では思いやりや物を大切にする心も育まれました。

助成金の用途

消耗品費（甚平用材料、文房具他）、生徒交通費、書籍



活動の概要

- ①言語聴覚士や社会福祉士、管理栄養士へインタビュー
- ②ユニバーサルデザインフードの試食
- ③介護食の試作
- ④市販されているパンの調査
- ⑤ユニバーサルデザインパンの試作・販売
- ⑥全校発表会

活動の成果

専門家や支援が必要な高齢者から直接意見を聞くことで、課題を把握し、「自分たちに何ができるか考え、行動する」ことができた。

助成金の用途

介護食材料費、交流活動材料費、書籍



活動の概要

- 4月 旧田代家の調査・資料作成
- 5月 セタ祭り企画への参加決定・打合
- 6月 文化祭で広報・イベント企画検討
- 7月 セタ祭りで来場者対応
アンケート分析
- 9月 商品開発・企画提案
- 10月 探究成果を外部イベントで発表
- 1月 校内発表会
県内探究フェスタに参加
- 2月 活動の振り返り
次年度計画検討・発表会参加

活動の成果

旧田代家を題材に、生徒が行政や大学、地域と連携し、文化財活用案を主体的に考察した。

資料収集や分析を通じて探究成果を地域と共有し、新製品は来年度商品化予定。セタ祭りは共催体制にし、生徒の意見を反映。地域との連携を深め、活動を継続。

助成金の用途

消耗品費（ポスター看板、文房具他）、生徒交通費、施設利用料

